

平成24年5月6日に栃木県真岡市から茨城県常陸大宮市にかけて
発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

5月6日13時頃に栃木県真岡市、益子町、茂木町及び茨城県常陸大宮市にかけて、突風による住家損壊や倒木などの被害が発生しました。

このため、7日及び本日(8日)、宇都宮地方気象台、水戸地方気象台、熊谷地方気象台及び東京管区気象台は職員を気象庁機動調査班(JMA-MOT)として派遣し、現地調査を実施しました。

結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻と推定した。

(根拠)

- ・被害の発生時刻に被害地付近を活発な積乱雲が通過中であった。
- ・被害や痕跡は、断続的であるが帯状に分布していた。
- ・被害地付近で、移動する渦を見たという証言や竜巻を見たという証言があった。
- ・被害や痕跡から推定した風向に回転性や収束性がみられた。

(2) 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは、藤田スケールでF1~2と推定した。

(根拠)

- ・住家の全壊が複数あったが、周囲の状況からF2との特定には至らなかった。
- ・樹木の幹折損が複数見られた。

* この資料は、速報として取り急ぎまとめたもので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

本件の問い合わせ先
宇都宮地方気象台 防災業務課
電話 028-635-7260
水戸地方気象台 防災業務課
電話 029-224-1106